

令和5年9月11日
福岡県久山町
西部ガス株式会社

福岡県久山町と西部ガス株式会社との日本初となる 先導的グリーンインフラモデルの構築に関する包括連携協定の締結



左から西部ガス株式会社常務執行役員 高崎 敬介、久山町長 西村 勝

本日、福岡県久山町（町長 西村 勝、以下「久山町」）と西部ガス株式会社（代表取締役社長 道永 幸典、以下「西部ガス」）は、持続性の高い、未来に向けたまちづくりの実現を目指し、日本初となる先導的グリーンインフラモデル^{※1}の構築に関する包括連携協定を締結しました。

久山町は、国土・社会・人間の3つの健康づくりをまちづくりの基本理念においた個性的なまちづくりを展開しており、今回、国土交通省の先導的なグリーンインフラモデル形成に向けた取り組みを促進する重点支援団体に選定されたことを機に、久山町未来デザイン協議会を設置し、産官学民が連携した恒久的なネットワークづくりと新たな事業展開をスタートします。

西部ガスは、これまでガス事業で培った様々な技術やノウハウを活かし、お客さまや行政等と積極的に連携して、2050年のカーボンニュートラル社会の実現、サステナブルな暮らしや地域社会を支える価値の共創を目指して取り組みを進めています。

本協定に基づき、久山町と西部ガスは、これまで培った専門的な技術や知識、経験などを活かして、久山町全域をフィールドに脱炭素社会の実現やウェルビーイング（Well-being）^{※2}の向上に必要な機能や仕組みの検証、モデル実装、サービス普及を共に行い、先導的グリーンインフラモデルの構築に取り組んでまいります。

※1 先導的グリーンインフラ：社会資本整備やまちづくり等において自然が有する多様な機能を活用し、ネイチャーポジティブやカーボンニュートラルの実現、インフラやまちづくりの持続性や質の向上、Well-beingの向上、健康増進、地域活性化、SDGsの実現などに貢献する取り組み
（ご参考）先導的グリーンインフラモデル形成支援の詳細については、国土交通省のHPをご参照ください。
<URL> https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000297.html

※2 ウェルビーイング（Well-being）：地域の生活環境と地域住民の生活の質

1. 締結日

2023年9月11日

2. 連携事項

- (1) モデル構築に向けた社会課題等の抽出および解決方法の分析
- (2) モデル構築に向けた既存事業の検証および新規事業の実証
- (3) モデル構築に向けた多様な人財の創出
- (4) その他、先導的グリーンインフラモデル構築に関する事項

3. 協定の経緯

久山町は、国土・社会・人間の3つの健康づくりをまちづくりの基本理念におき、半世紀にわたり、個性的なまちづくりを展開してきました。そのまちづくりの成果は、人口の増加や高齢化率の低下など、さまざまな面で数字としても表れており、2015年には、国連でも活用される持続可能な豊かさを図る新たな経済指標「新国富指標」において福岡県第1位になるなど、SDGsを体現した町として注目されています。

現在は、まちづくりのさらなる発展を目指し、デジタルを活用したセルフケアの推進や、空き家の新たな活用策として「地域交流型シェアオフィスそらや」の開設・運営を行うなど、独自の政策に取り組んでいます。また、脱炭素社会の実現に向けて、日本で初めて「カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブ^{※3}」を宣言し、産官学民が連携した各種実証を展開しており、課題解決と住民のウェルビーイングの向上を結びつけた様々な取り組みを行っています。

こうした取り組みが評価され、国土交通省が行う令和5年度の先導的グリーンインフラモデル形成支援の重点支援団体に選定されました。

西部ガスは、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みをはじめ、人々が支え合い、安心して住み続けられるまちづくりや社会・暮らしの多様なニーズに寄り添ったサービスの創出などに取り組んでおり、福岡県宗像市の日の里団地の再生など、持続可能な暮らしや地域社会を支える取り組みを積極的に展開しています。

今回、両者がまちづくりへの挑戦に向けたお互いの考えに共感し、これまで取り組んできたまちづくりの経験を活かして更なる連携を図ることで地域の発展に貢献できると考え、本協定を締結する運びとなりました。本協定の締結により環境課題や社会課題（産業振興、子育て支援、高齢化、教育など）を解決し、持続性の高い、未来に向けたまちづくりの実現を目指して積極的に取り組んでまいります。

※3 カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブ：令和3年3月に環境分野への取り組みの一環で久山町が宣言。

自然資源の生産と消費、担い手育成が循環する仕組みづくりを目指す取り組み
(ご参考) 宣言に関する詳細については、久山町のHPをご参照ください。

<URL> <https://www.town.hisayama.fukuoka.jp/news/2377.html>

4. モデル構築に向けた連携事項の展開イメージ

久山町と西部ガスは、持続可能な社会の実現、さらには、ウェルビーイングの高い未来社会を描いていく上では、産官学民が集い、課題を共有し、役割分担のもと解決に向けて実行する新たな体制やその機会をつくるのが最も重要であると捉えています。

両者は、今回のモデル構築において、自然資源の生産と消費、そして消費者や担い手育成などの人づくりまでを1つのシステムとして構築していくことを目指しており、「自然を守り育て、共に生きていく」仕組みづくりに挑戦します。

そのスタートとして、久山町は、志を共にする企業関係者や学識経験者などと多角的な視点で課題を再認識するとともに、その解決方法を検討するために「久山町未来デザイン協議会」を9月1日に設置しました。西部ガスは、この協議会に参画し、これまで培ってきた地域との協働による持続可能なまちづくりの知見を活かした課題の検証や活動の検討などに取り組んでいきます。

協議会での協議内容を踏まえ、段階的な事業展開を図りながら、最終的には、社会性と経済合理性、創造性を兼ね備えるモデル構築に挑戦し続ける人財の創出に寄与する仕組みづくりにつなげていきます。

(連携事項の展開イメージ)

